

## 令和7年度第2回桑名市ブランド推進委員会 会議概要

日時・場所	令和8年3月27日(金) 13:30～15:30
出席者	委員：10名 市長：1名 事務局
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 桑名ほんぱく 2025 の振り返り・次年度開催について</li> </ol> </li> <li>4 報告             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) パブリックリレーションズ事業の取り組み結果について</li> <li>(2) 桑名エリアマネジメントの今後について</li> <li>(3) スタートアップ共創推進事業の取組について</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 桑名ほんぱく 2025 の振り返り・次年度開催について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>○学生参加は本当に嬉しいこと。これからグローバルに活躍する方々にとって、テクノロジーとこれまでの歴史の両方をいかにリアルに触れる体験ができるかは、AI時代において非常に重要である。</li> <li>○この情報をみると皆さんとても頑張っている。良いプロジェクトが進んでいるから、これからも頑張してほしい。</li> <li>○私も Instagram をフォローしているが、これが若い世代の参加に繋がったのかなと思う。学生参画が始まったこともとても良いスタート。やはり20代・30代に参加してもらうには、その世代が企画したものをうまく絡めながら発信すると良い。この世代は一気に広がると思うので、この流れを続けていただけると良い。</li> <li>○本物を見る、体験できる、ほんぱくという名前通り、素晴らしい企画だなと思う。ゴルフ場やお酒など、富裕層向けに「桑名にはこんな本物がある」と感じるようなプログラムも面白い。</li> <li>○会議のプレゼンがすごく良くなっている。ブランディングでは重要なことである。動画も作っていただき、雰囲気もすごく分かりやすかった。</li> <li>○20代・30代の集客が課題とあるが、大学生の方、また親子の世代にターゲットを絞っていく形で良いのではないかと。出生数が上がっているというのは本当にすごいこと、子どもプログラムを増やしていく方向でやっていくことが、今後も重要。ターゲットを絞り、『親子世代に強い』ということを取組むと広告もつけやすい。</li> <li>○「ホームページに検索機能を取り入れたほうが良い」という前回の委員会での意見が、すぐに実現していただいたことに感動した。</li> <li>○数字の変化をもっと深堀していくと、19歳以下の参加者が増加した、これはまさに若い世代に文化が根付いて支えていく変換点じゃないかと思うので、この後の10年でこれがもっともっと根付いていくようにする今の設計がすごく大事。</li> <li>○体験した人の満足度がとても大きいですが、体験していない人にどう伝えていくかというところがこれからの課題である。</li> <li>○通年化するにあたっては、今のこの熱量でうまくいっている部分が何なのかを、もう少しははっきり自分たちでも分析して、この季節だからうまくいって</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

いるかもしれないし、この内容だからうまくいっているかもしれないという部分を、リスクも可能性も考えていくと良い。

- 学生参画はすごく面白いと思う。1つ2つの企画を最初から最後まで任せて、失敗してもそれは学生にとって財産になるので、そこまで覚悟を決めてやってみたら面白い。
- 85のプログラム数を9月から3月までの162日間で開催したが、ほとんど10月11月に開催が集中している。通年開催の話があったが、桑名の3月から8月はイベントが多く、夏休みの子どもたちの参加は非常に魅力的だと感じる。ぜひ通年開催していただきたい。
- ほんぱくを通して表面上で知っていたことを体験することによって、よりその奥行きや自分の知らなかった知識力を増やしてもらえそうな、そのようなコンテンツが増えてきていると感じた。そういったことが桑名の魅力につながると思う。体験するだけでなく、知識を持ち帰るということは良い体験にもなるし大切。このようなコンテンツを増やしていくともっと賑やかな良いプログラムになるのではないか。
- 広告料が増えているのは良いが、全体としての収支はどうなっているのか、事業としては桑名市と桑名エリアマネジメント（株）というミックスが他にはない原動力や魅力の一つ。収益性の向上や、10年続く「本物」と新しい「チャレンジ」の枠を分けて数値化、分析することも必要。

#### 4 報告

##### (2) パブリックリレーションズ事業の取り組み結果について

- 日本が保守的になる中、住民に丁寧に説明して、認知や共感を高めていくことが重要である。
- 多文化共生や外国人活躍の仕事で風当たりの強さを感じることがある。グローバル教育の視点で進めているところが良い。そういう点では企画やイベントで教育委員会と連携したり、グローバルフェスタで外国人が運営側に入り共創していくと、もっと良くなるのではないか。
- 世界から選ばれる持続可能なまちにするのであれば、ニーズの把握は必須である。
- 目的を共有するには目標の設定が重要である。100%英語では市民はついてこない。程よい目標で市民を巻き込むと良い。

##### (3) 桑名エリアマネジメントの今後について

##### (4) スタートアップ共創推進事業の取組について

#### 5 その他

- 多度エリアマネジメントについて